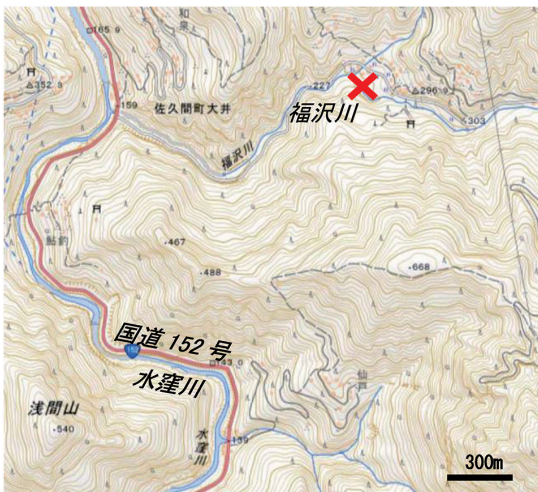


W026 赤石裂線の破碎岩（カタクレーサイト）（  
静岡県GEO DATA（23）：地学散歩（102））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 楠, 賢司, 三須, 寛希, 狩野, 謙一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00028590">https://doi.org/10.14945/00028590</a>

W026 赤石裂線の破碎岩（カタクレーサイト）



国土地理院 地理院地図（電子国土Web）

赤石裂線は、浜松市天竜区水窪から同区佐久間・二俣を経て遠州灘の海底まで続く断層である。この県西部をほぼ南北に縦断する大断層は、主に左横ずれによって形成されたと考えられている。

水窪川支流の福沢川中流右岸では、写真のような赤石裂線の断層運動によって形成された破碎岩（カタクレーサイト）を観察できる。この源岩は三波川帯の黒色片岩である。破碎された角礫の配列を見ると、左横ずれを示す複合面構造が認められる（写真中のY面、P面）。このように本露頭からも赤石裂線は基本的に左横ずれ断層であることが支持される。なおY面は断層の全体の方角と平行である。

この観察地点より下流では赤石裂線の影響を受けていない三波川帯の黒色片岩及び緑色片岩が露出する。一方、ここより上流では秩父帯・四万十帯の砂岩が認められる。

（楠 賢司・三須寛希・狩野謙一）